

令和8年度 第1回お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時：令和8年7月16日（木） 午後6時30分～午後8時
- 2 開催場所：二宮町役場 第1会議室
- 3 出席者：石川会長、石黒副会長、二宮委員、瀬田委員、橘川委員、佐野委員
田中委員、高橋委員、上田委員、小椋委員、杉山委員
欠席者：大岩委員、山下委員、野谷委員、伊海委員
事務局：福祉部長、高齢介護課長、
高齢介護課高齢福祉班長、
高齢介護課高齢福祉班（3名）
- 4 議題
 - （1）「高齢者等の買い物支援・見守り活動に関する協定」について
 - （2） 地域の協議体について
 - （3） 二宮町認定ドライバー養成研修と移動支援について
 - （4） その他

5 議事録

1. あいさつ

事務局

令和8年度第1回二宮町お互いさま推進協議会を開会いたします。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。早速はじめさせていただきます。

今年度、第1回目のお互いさま推進協議会でありますので、二宮町福祉部生井部長より一言ご挨拶させていただきます。よろしくお願いします。

福祉部長

（福祉部長 挨拶）

事務局

今年度初めてのお互いさま推進協議会でもあり、メンバーも少し変わってるところもありますので、皆様より一言いただきながら、自己紹介をお願いしていければと思います。

（各委員・事務局 自己紹介）

2. 会長・副会長の選任について

事務局

会長・副会長の選任についてです。「二宮町生活支援体制整備事業実施要綱」第4条により会長及び副会長の選出したいと思います。会長の選出は委員の互選により定めることとなっておりますので自薦他薦ありましたらお願いします。

自薦他薦ともないようですので、事務局の方で、推薦させていただきます。石川委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか？

(拍手)

次に副会長は会長の指名により定めるとされています。会長いかがでしょうか？

会長

石黒委員にお願いしたいと思います。

(拍手)

事務局

傍聴についてです。会議及び会議録の公開に関する取扱要領により本日の会議の公開について、委員の皆様にお諮りします。本日の会議を公表することで、公正かつ円滑な審議が著しく阻害されるおそれは無いと思われます。よって、本日の会議は公開したいと思いますが委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

事務局

本日の傍聴は2名です。それでは、議題に入りたいと思います。会議の進行につきましては、石川会長にお願いしておりますので、よろしくお願いいたします。

会長

議題に入る前にお互いさま推進協議会の役割について共有したいと思います。町の体系としては、町全体を考える、第1層の協議体として「お互いさま推進協議会」があり、第2層の協議体として、小学校区ごとの協議体があります。一色小学校区は「いちふく」、山西小学校区は「たんぽぽささえたい」、二宮小学校区は「クローバーの笑・和・輪」となります。協議体においては、何かを決めるのではなく、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる

よう、自助・互助・共助・公助のそれぞれの強みを活かしながら、生活支援や介護予防等の取り組みが進むようことについて話し合う場です。協議体で話し合ったこと、共有したことが、それぞれの活動に活かされることも期待されます。今回も、様々な立場の方にお集まりいただいておりますので、地域課題の共有や町全体の仕組みづくりを検討できるよう、活発で前向きな意見交換ができればと考えておりますので、よろしく願いいたします。

3. 議題

議題（１） 「高齢者等の買い物支援・見守り活動に関する協定」について
議題（２） 地域の協議体について

会長 議題（１）と議題（２）は関連してしますので、まとめてご報告の方をお願いしたいと思います。まずは議題１です。
「高齢者等の買い物支援・見守り活動に関する協定」について、事務局の方からご報告をお願いします。

事務局 （資料１に基づき説明）

会長 続けて議題（２）の「地域の協議体について」伺ってきたいと思います。いちふくの石黒副会長、お願いします。

副会長 （令和８年度「いちふく」活動報告に基づき説明）

会長 次に「山西小学校区」「二宮小学校区」の報告をいただきしたいと思います。杉山さん、お願いします。

委員 （１「買い物難民対策」移動スーパーの運行開始に伴う現状と課題、２「住民のための支援」買い物以外の困りごとに関する情報提供に基づき説明）

会長 これらの報告について、皆さんからご意見をいただきたいと思います。議題（１）に関してご意見いかがでしょうか。

委員 スーパーに関しては、私は、昨日で３回目の利用となります。月曜日や水曜日には「通いの場」の帰りに訪れました。実際、移動スーパーは意外と若い世代の利用者も多く、幅広い年齢層に利用されていることが分かりました。地域への周知が進めば、さらに利用が増える可能性があると思います。例えば、移動スーパーを宣伝するために配った

チラシがあり、地域の回覧で富士見が丘1丁目の通いの場でコピーしたものを頂きました。しかし、自治会の人員が限られており、その周知活動が難しい現状もあります。また、「通いの場」に参加しない方への情報提供が不足しているため、今後どう個別に周知していくかが課題だと思います。

会長

移動スーパーの周知方法については、マックスバリュさんが折り込みチラシを配布するなど積極的な取り組みを行っており、さらに回覧板で情報を共有する方法も一つの手段として行っています。また、若い世代の利用者が多いという声も聞いています。さらに、人数が来られたという事で利用する人同士で誘い合ったりするのがコミュニケーションの一環となり、その結果、利用者数が徐々に増加している状況も見受けられます。また、富士見が丘1丁目会館を利用している町民の中には、以前から移動スーパーに慣れている方もいることから、地域全体において買い物の選択肢が増えたことで、少しずつその利便性が広まっていると思います。他にご意見や地域の方でこんな感じでしたという方はいらっしゃいますか。

委員

私も初めて訪れた時は、利用者が少ない状況でしたが、スーパーが本当にコンパクトになっており、いつも見てる商品が沢山あるので、我々は楽しいです。だから、最初は本当に2,3人じゃ申し訳ないなと思っていたところ、回が進むにつれて人数が増え、最近では10人以上となっています。

会長

買い物支援の目標でもある、コミュニティができているという事ですね。他にはありますか。

委員

私は川勾地区を中心に買い物支援を利用しています。週1回お子さんと一緒に買い物に出掛ける家庭も多い一方で、実際には困っている方々がいるのではないかと感じています。しかし、そのような方々の情報を知る手段が限られていることが課題です。通いの場に参加される方々は、コミュニケーションが活発で情報交換も行われているため、支援を受けやすい環境にあります。しかし、チラシや回覧に目を通さない方、移動スーパーの仕組みが分からず利用を躊躇される方も存在し、結果的に「地域への支援が十分に行き届いていない」という現状があります。こうした状況において、リーダー的な人が呼びかければ多くの人が集まる場が生まれることもありますが、そのような存在がない場合、情報提供が滞ることが多いです。通いの場で声を

かけても、参加しない理由を感じている方もおり、地域全体で課題に取り組む難しさを痛感しています。現在は民生委員や地区の方々と協力し、ご近所ネットワークを利用しながら少しずつ支援の輪を広げることに入力しています。私自身も、この取り組みを通じて今ある支援のルートを維持し、さらに広げていくことが重要だと考えています。そのためにはルートを積極的に活用し、地域のつながりを強化することがポイントになると思います。

事務局

心配されている点に関しては場所が確保できるものの、お客さんが来ない場合、移動スーパーの運営が継続できなくなるのではないかと考えています。この点について、3者協定の協定内容を決める際、たとえ少人数の利用者であったとしても続ける方針としました。利用者が困らないよう、急にコースをやめたり変更したりすることのないよう、3者協定に基づいて話し合いながら進めていきます。住民のニーズを拾いながら、コースの見直しや日数を増やすなどの改善を図り、より買い物がしやすい環境をつくる予定です。現在は月曜から水曜で運営していますが、木曜や金曜にも拡大することで、住民の困りごとに寄り添っていきたくと考えています。また、下浜地区（二宮中学校周辺）については、「下浜地区になぜ来ないのか」という声が住民の方から上がっています。この点についても早急に検討を進め、買い物がしやすい環境を整える方向で動いています。さらに、百合が丘地区の団地（神奈川県住宅供給公社）についても、多くの住民が住むエリアであり、停車場となるよう調整を進めています。同地区では坂が多く買い物が困難だという課題があるため、適切なコースを設定する必要があると認識しています。ただし、の調整に時間がかかっている状況です。地域全体で買い物の利便性を向上させるため、寄せられる住民の声を参考にしながら対応を進めている状況です。

会長

今後、周知方法について再検討する必要があると感じています。移動スーパーが高齢者だけでなく若年層にも使えるという点を強調すべきだと思います。また、ルートが新たに開拓した場合にも、再度周知するというのも必要になるかと思っています。また、施設に関しても、利用している方が買ったものを食べても良いのか管理はどうするのかという施設側の課題がありますのでそこら辺の難しさもあるのかと思っています。他には、ご意見いかがでしょうか。

副会長

私の地区（緑が丘）は月曜日で時間帯があまり良くないので、最初は20～30人ぐらい来られたと思います。回覧を見ても行かない人、いない人っていうのはある程度把握

できるので、チラシをお示ししました。効果があったかは見えないので、利用者は、まとまったメンバーかなというのをその辺を聞きたいです。

事務局

現地を回ったのですが、最初のうちは珍しさから利用者が多かったものの、時間が経つにつれて減少するケースもありました。一方で、定着して利用者が増えてきたケースも見受けられます。その状況を踏まえると、現状を正確に把握するためにも、情報を集めることが必要だと感じています。

副会長

私も品揃えを見た時にこんなにも商品があるのかと思ったので、有効に使えると感じました。

委員

移動スーパーが始まったことで、有用な事例があれば教えていただきたいです。

委員

高齢者の方でこれまで買い物については公的なサービス、例えばヘルパーによる買い物支援に頼る事が圧倒的に多かったです。しかし、こういう仕組みができたことで、介護保険は使わなくても済むケースが実感としてあります。実際に私が担当している方でも、買い物行くにも介護予防に繋がっている事が良いと思います。また、買い物そのものが目的ではなく、閉じこもり予防やコミュニティ形成の場所として付加価値を持たせると、さらに効果的ではないかと思います。例えば、健康相談会や体力測定を行うことで、買い物以外の目的で人々が集まる機会を作れるのではないのでしょうか。ただし、こうした取り組みには費用面の課題もあると思います。

会長

そうですね、もちろん自分で移動スーパーへ買い物に行くことも可能ですが、例えばひとりで行くのが少し不安な方に対しては、決まった時間にヘルパーさんと一緒に買い物に行くという選択肢もあります。また、このような仕組みがあることで、閉じこもりがちな状況を防ぎ、実際に本人が商品を目で見て選ぶ体験をすることができるなど、メリットもあります。また、こうした取り組みについてはケアマネジャーにも認知を広げ、必要に応じて利用者に提案できるようにすることが重要だと考えられます。移動スーパーやその他の方法を活用することで、多くの方にとって買い物がより安心で便利なものとなるように、ぜひ今後も積極的に進めていきたいと思っています。この他にも何かありますか。

事務局

最後に移動スーパーの関係ですが、サービス提供範囲が二宮町となっている介護保険事業所に対してメールや会議で周知を行い、利用を促進するよう働きかけています。また、駐車場が広い福祉施設の全て声をかけてさせて頂きました。しかし、車の利用状況・入居者管理の理由で断られるケースがいくつかありました。福祉施設には、利用されている方だけでなく、地域住民が買い物しやすくなる環境づくりに協力してもらいたいと声かけを行いました。しかし、一般の方は福祉施設の駐車場に入りづらいという印象があり、それは他の市町村でもそのような傾向があると聞いています。二宮町と「どんな方でも使って大丈夫ですよ、地域の方に開放してもらっています」という周知の必要性を感じています。その他、マックスバリュは他の市町村で移動スーパーを展開していますが、地域の自治会の方やキーマンとなる方が、どれだけ困っている人に情報を届けられるかによって、利用者の数が大きく変わってくると聞いています。初日に40人ほど集まった場所がありました。その地域のキーマンとなる方は店員さんのように色々な方に声をかけてくださったおかげで、本当に多くの方が集まりました。私もその場にいましたが、「何年ぶりの再会だね」とか「〇〇さん、久しぶり！」といった会話が自然と生まれ、地域の中でコミュニティが形成されていく様子がとても印象的でした。また、待ち時間には日陰で座りながら談笑する方々もいて、小さなコミュニティーが自然にできているのが嬉しく思いました。今後も、利用者のニーズや場所を見直しながら進めていきたいと思っています。そして、「私の駐車場や土地を活用してほしい」という申し出がありましたら、ぜひ社会福祉協議会に情報提供いただけると助かります。皆様にご協力いただきながらサービスをよりよい形で広げていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議題（3）二宮町認定ドライバー養成研修と移動支援について

会長

議題（3）の方に移っていききたいと思います。二宮町認定ドライバー養成研修と移動支援についてということで、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料2：二宮町認定ドライバー養成研修に基づき説明）

会長

地域での移動支援ニーズのところとあとは年度末に受講された方の活用というところについて皆さんの方からご意見を頂きたいなと思っています。今の移動支援ニ-

ズとか受講生の活用みたいなところに関して何かご意見
いただけたらと思います。いかがでしょうか。実際にワ
ーカーズ大空さんは福祉有償運送をやってらっしゃいま
すけど、受講された方のお話がありますか。

委員

もちろん、これを取得しないと福祉有償運送ができま
せんので、私たちのメンバーのほとんどが受講しており、
この資格を持っている人は10～20人ほどいると思います。
現在、この支援をしているメンバーの多くは男性で、女
性は5人にも満たない状況です。その理由として、女性
のスタッフは介護保険事業のヘルパーとしてシフトに入
っており、病院への付き添いなどでは2～3時間程度かか
ることが一般的で、手配が難しい状況となります。その
ため、介護保険の資格がないフリーのスタッフで福祉有
償運送の資格を持つ男性に依頼するケースが多いのです。
ただ、女性の利用者さんにはトイレを含むさまざまな場
面で女性のヘルパーに対応してほしいという希望が多く
あります。この場合、移動支援を行う女性スタッフが一
緒にすることが理想ですが、サービス提供責任者は基本
的に定期的なケアにはあまり入らないため、現在は私を
含む2人のスタッフが負担を多く抱え込む状況になって
います。そのため、女性でこの資格を持つ人がもう少し
増えると良いと常々感じています。また、通院や買い物
などを自分の目で確認したいという希望を持つ利用者が
非常に多くいらっしゃいます。車椅子で利用できる専用
車は2台ありますが、それがなければ買い物や外出が難
しい利用者もいるため、そういった方々を優先して使用
していただいている状況です。今年もぜひ、資格を取得
するための講座を受講していただき、資格を持って欲し
いと思っています。

会長

福祉有償運送は月にどれぐらいの件数ですか。

委員

多い日には、7件ほどの対応が発生することもあり、
もう1人のスタッフが多忙な日は、1日で3コマ、つま
り3回対応することがあります。もちろん、対応がまっ
たくない日も時折ありますが、その際には研修などに充
てられているのではないかと思います。また、お断りせ
ざるを得ないケースも多々あります。通院の日程を前倒
しにせざるを得ないケースもあります。

会長

かなりのニーズがある状況だというふうに思います。
私自身も依頼させていただくことがあり、1日7件もの
対応が発生するというお話を聞いて、非常に需要が高い

のだと実感しました。現在「ほほえみの会」さんの方でも移動支援を行っていると同っていますが、現時点での状況について教えていただければと思います。

委員

受講者は以前4名いらっしゃいましたが、最近80代の女性の方が年齢のこともあり辞められ、現在は3名で活動しています。そのうち1名は50代の男性で現役世代の方ですが、平日の活動が難しい状況です。この方はやる気は十分ですが、予定が合わず、実質的に参加はほぼ2名体制となっています。病院付き添いに関しては個人的にその方が行くことを約束し、病院の予定を調整して、付き添い支援を行っています。付き添いの対象の方は80歳近く、もう1人の方は70代の男性で、買い物支援を主に担当されています。買い物支援は7人乗りの車を使い、月1回の日曜日に買い物ツアーを実施しています。行き先は主に「西友」や「ビック」のどちらかですが、最近の利用者が減少しており、以前は6名程度だった参加者がさらに減っている状況です。役員がお買い物に困った人などの情報を近隣の住民から拾い上げてほほえみの会に連絡をいただいています。また、新しい方は現在1名ですが、運転手の捉え方や役員の付き添い方法を改めて検討し、1人必ず付き添い役員が同乗して対応しています。ただ、付き添いの際に完全に一緒に行動する形ではなく、遠くから見守る形を採っています。時間を決めて「何時に集合して車に戻りましょう」と約束し、最後はお手伝いをする場合もある状況です。具体的な手伝いの内容については個々の利用者によって異なるため、試行錯誤をしながら運営しています。

会長

個別でそのような支援とグループ内とかでできるような買い物ツアーみたいなものもやっていらっしゃるっていう感じですね。

副会長

そういった支援や買い物ツアーそれぞれ行う頻度、月でも半年でも何件か教えてください。

委員

この事業は月に1回の頻度で実施しており、以前は利用者が5人に役員1人の体制でしたが、現在は利用者が1〜2人ほどに減少しています。やはり多くの方が施設入所された影響もあり、利用者の人数が減少している状況です。ただし、この取り組みはすでに6年間続けており、継続することで新たな発見や課題が見えてくる可能性があるため、しっかり続けていきたいと考えています。行き先については「シティーモール」などの案も挙がりま

したが、現状ではそのような場所への買い物支援は厳しいため実現していません。人数は減少傾向にあるものの、利用者に声をかけるなどの活動が続けることを大切にしながら運営しています。

会長

今、一色では通いの場でも移動支援の方を行っていると聞きました。現状を教えてください。

委員

現在3名の送迎をしています。みなさん毎週楽しみに来ていただいております、とても喜んでいただいています。百合が丘地区の取り組みと似たような活動ですが、一昨年、緑が丘地区の社会福祉協議会で綾瀬市に見学に行ったことがあります。そこでは、施設の子供たちの送迎に使用されている車を活用し、事業所のドライバーの方々（3名ほど）が運転を担当していました。7人乗りの車を3台使って活動されていて楽しそうでした。最初は男性が運転していましたが、現在は女性が運転しているとのことでした。その取り組みでは、スーパーマーケットと向かい側にあるドラッグストア「クリエイト」への送り迎えが行われていました。クリエイトに行きたい方が増えているということで、地域のニーズに応じた活動をされている様子が印象的でした。しかしながら、職員が不足していることや、運営が難しくなっているといった課題も聞かれました。活動は月2回ほど実施されているようで、大いに参考になる取り組みだと感じました。ただ、これを百合が丘地区で実現するのは簡単ではないと思います。話をする中で「月1回でも、女性たちがあのような明るい雰囲気のある場所に行けると、とても楽しいひとときになるのだろう」と感じました。

会長

私も以前、その方のお話を伺ったことがあります。参加されていた方の中に、本を買いたいと思っている方がいたそうです。ただ、二宮町内では本を購入できるお店が少ないため、その方が商業施設に併設された本屋さんで買い物をした際、本当に喜ばれたというお話を聞きました。このような経験からも、人それぞれいろいろなニーズがあるのだと感じます。こういった取り組みやサービスがもっと広がれば良いと思います。ちなみに、最近、メゾン二宮さんの活動や福祉車両の活用についても話題になっていますね。

委員

ゲンコミ協議会とかでは私も初めはシティーモールとか行っただけですけど運転にいろいろな部分で「なかなか難しい」という判断がありました。私自身もフリーな場

面での突発的な出来事などもあり、例えば予定を組んだのに出られないケースや、こちら側の都合でキャンセルになる場合などがありました。その点については難しい部分も感じていますね。そうした話の中で予算もせっかく用意したものですので、いろいろ話をして進めてきた経緯があります。

会長

そうですね。福祉車両の空き時間をうまく活用できればと思っています。もちろん、メゾンさんだけではなく、他の福祉事業所や町の協力も含めて、福祉事業所ではデイサービスなどで待ち時間が発生することも多いですね。

委員

個人で持ってるのは、ほとんどは軽自動車を保有しているところが多いです。4人乗りが基本で、ドライバーと機材のスペースには限りがあり、その対応が課題となっています。また、大型車両については運転を敬遠する方も多いようで、ニュースなどで目にする事故の影響もあり、安全面を考慮して軽自動車への転換が進んでいるのが現状です。

委員

そうですね。実際、私たちの事業所でも大きなハイエースから軽自動車に切り替えているところです。車両のサイズが変わることで、保険や保証の問題が発生することもありますし、大型車両を運転する職員が少なくなっているのが現状です。また、従業員の中には「大きい車両は運転したくない」という声も聞かれます。そうした事情も含めて、今後は福祉車両についてより効率的かつ安全な運用方法を考えていく必要があると感じています。

会長

そうなんですね。今だいぶこういう車が変わってきて、少し小型になっているという状況なんですね。百合が丘地区の移動支援は月2回で利用者の方も喜ばれていますし、今後回数を増やしたり他の地域でも支援を展開したりする可能性を検討しながら、移動支援は続けていく必要があると思います。また移動支援は非常にニーズが高く、住民から声が寄せられています。また、受講生の活躍の場として福祉事業所で活躍している方々が多くいらっしゃるし、ドライバーとして活動することで受講者がどう広がるものかなと思いますので、ぜひこの活動を継続していただき、多くの方々の声に応えられるよう支援を進めていきたいです。「やりたい」「活動したい」という意欲を持った方々が多数いらっしゃる中で、その機会を提供し、精度の高い活動ができるようにしてい

たいですね。

会長

その他全体を通して、意見とか情報提供があればと思いますが、いかがでしょうか。それではすべての議案が終了しましたので、事務局の方にお返ししたいと思います。

事務局

今日は、色々なご意見も含めて協議をいただきありがとうございます。これにて、第1回二宮町お互いさま推進協議会を閉会いたします。次回は令和9年2月12日（金）となります。今後とも宜しくお願い致します。ありがとうございました。

閉会 午後8時00分